

つなげモンシリーズ

社内外の分断をなくし、
データの自動化を実現する。

あらゆるシステムと現場をシームレスにつなぐ
ゲートウェイ・プラットフォーム

提案書 (Confidential) / K-SP Co.,Ltd.

■ 現場や経営が抱える課題

- ・ 「顧客のため」が引き起こす自己犠牲

良かれと思ってやっている無償の特別対応や手作業が、実は会社の利益を大きく削っています。

- ・ 属人化によるスケールアップの限界

特定の担当者にはしかできない「神対応」に依存しているため、事業を拡大することができません。

■ つなげモンが提供する価値

- ・ 業務フローを標準化し、誰でも高品質な対応が可能な仕組みへ
- ・ 無駄な手作業を自動化し、利益の出る「適正なサービス」を実現
- ・ 顧客満足度を維持しながら、しっかりと利益を残す体質へ改善



TRUTH 02

「損益分岐単価」を知らない営業マン

「いくら以下の注文だと、処理コストと送料で赤字になるのか」を現場が把握していないため、「お客様だから」と送料無料で受けてしまい、悪気なく赤字取引を続けます。

1

赤字ライン（損益分岐点） の明確化

まずは、1 件の注文を処理するのにかかる人件費と送料を計算し、「この金額以上でないと赤字になる」という最低ラインを全社で共有します。

2

注文処理のシステム自動 化

受注から伝票発行、出荷指示までのプロセスをシステム連携で自動化することで、「1 件あたりの処理にかかる人件費」を劇的に下げ、少額注文でも利益が出る体質を作ります。

3

データに基づく VIP 顧客 への単価交渉

「御社からのこの注文は、実はこれだけ赤字が出ています」と客観的なデータ（発注履歴とコスト）を提示することで、角を立てずに単価アップやロットのまとめ交渉が可能になります。

処理コストを下げて、赤字取引を黒字化する

手作業の限界を感じていませんか？

受注処理の自動化システム（EDI や RPA など）の導入なら、つなげモンにお任せください。